

## 2年国語「ふきのとう」授業記録

宇治市立菟道第二小学校 吉川恵美子

### 前時の振り返り

\*自分の振り返り：完全に教師の誘導になってしまっている。振り返りの際の有効な方法は？子どもたちに言わせればよい？

- T1 昨日、なんの勉強した？ここで。
- C1 冬がまだちょっと残ってて、春がちょっと来てる。(さら)
- T2 なんて言わはった？
- C (口々に) 冬がまだちょっと残ってて、春がちょっと来てる。
- T3 なんて言わはった？と聞かれたときに、言えた人すごい。言えた人？
- C (手が多数挙がる。)
- T4 冬が少し残ってる…反対の言い方したら、春がちょっと来てるところを見つけたんやねえ。何があった？この中に。
- C いっぱいあった！
- T5 あ！じゅきさん、早い！なんて？どこ？
- C 雪がまだすこしのこって
- T6 雪がいっぱい積もるのは冬。じゃあ、今、どういう状態かというと？
- C (口々に) 雪がまだすこしのこってる
- T7 じゅきさん、「すこし」というところに力を入れはった。「すこし」ということは、ほとんど、とけてる。
- C2 けど、残ってる！（むつき）
- T8 そうや。けれど。「しかし」とか「でも」とか、そんなふうに、前のところと、違った感じでつながる。たとえば、「今日は、雨です。でも、運動会がありました。」
- C ええ？！
- T9 普通なら・
- C ない！
- T10 雨なら運動会はない。「でも」という言葉は、ほんまやったらありえへんつながり方をする言葉やな。こういうのを、逆に接続、つなげるから、逆接っていうんです。せ～の！
- C ぎゃくせつ！
- T11 むつきさんは、「けど」っていわはった。それは、逆接やなあ。春やったら、全部とけてなあかんけど、まだすこし。「まだ」というのは、普通やったら、もうなくなってるのに、「まだ」って言うよね。「あんた、まだ、宿題してないの？」と

いうのは、普通やったら、もう、宿題終わってなあかんのに、「まだ」ってつかうよね。「あなた、まだ、寝てるの？」というの、ほんまやったら、もう起きてなあかんのに、「まだ」だよね。「あなた、まだ、そんなことしてるの？」というの、ほんまやったら、もうしてたらあかんことを、「まだ」してるんだよね。では、「まだすこしのこって」というのは、普通やったら？

- C とけてなあかん。
- T12 まだ、あるんだよね。というの、冬がちょっとだけ残っちゃってる証拠や。すばらしい！じゅきさん。他にもあったよ！
- C3 「さむかったね。」「うん、さむかったね。」というの、・・・(なお)
- C4 「さむかった」って言ってるんやから、もう、さむくはない。(むつき)
- T13 「さむかった」って言ってるんやから、今、寒いのか？
- C さむくない。
- T14 今は、どうなの？
- C あたたかい。
- T15 ということは、もう、何が来てるのか？
- C 春！
- T16 これは、何のために、あたたかくなったのか？
- C5 「あさのひかりをあびて」
- T17 この「あさのひかり」は、どんなひかり？
- C (口々に) あったか〜い
- T18 昨日の朝も、あったかかったのか？
- C6 昨日は、さむかった。でも、今日は、あたたかい。
- T19 そうや。ここで、冬は、終わったんやな。ほんで、ここから、春が始まったんやな。ここが、冬と春の境目や。さあ、もう、あさのひかりは、春です。これ、どんなふうにならうと思わはったと思う？言うてみ。
- C6 さむかったね
- T20 ああ！じゅきさん、こんなふうにするのがえらい！
- C (ささやくように) さむかったね。(何回か、言い直す。)
- T21 なんで、ささやいたん？「さむかったねえ！」(大きい声) っていう方がいいのにな。
- C7 まだあさやから、うるさい。
- T22 まだあさやから、うるさいのか？
- C8 まだ、みんな寝てるから。(みいな)
- T23 なんで寝てるのか？
- C9 冬眠してるから。
- T24 そう！冬に寝るのは、なんやった？

- C       とうみんな！
- T25      ということは、まだ、冬眠してるやつがいるんやな。なんで？
- C       さむいから
- T26      さむいの？いま。
- C10     まだ、ちょっとだけ春が始まったばかりやから、まだ、ちょっとしか起きてない。(むつき)
- T27      すっかり春になったらどうなるの？
- C       (口々に) もう、みんな、冬眠が終わる。
- T28      終わったら、どうなるの？
- C       (口々に) にぎやかになる！
- T29      にぎやかになる。

### 「春が始まっていると思うことばを探す」場面

\*自分の振り返り：対立を作らずに、ずっと、教師が誘導している。対立を作っても、討論させずに、「あてもの」のような授業展開をしている。まったく、「追求」になっていない。

- T30      じゃあ、今日は、ここから、行くで。ここから、「あ！春やからや。」って思う言葉があるで。さあ、みんな、名探偵コナンになった？4・5・6・7と行くよ。いいか。せ～の！
- C       (読み始める。)
- T31      ちょっと、待って待って待って。重たいのに。これは、誰の言葉？
- C       雪の下のふきのとう。
- T32      雪の下に、地面から、頭ってこれぐらいだけやろう？この辺だけ出したふきのとうが、何言うてるの？
- C       「よいしょよいしょ。」
- T33      へ～～。遊んでるんや。「よいしょよいしょ重たいな。」って。
- C       (笑)
- T34      みんながそう言ったんやで。
- C11     よいっしょ、よいっしょ。(りく)
- T35      すごい！りくさんの言い方。もう一回、言ってみて。
- C12     よいっしょ、よいっしょ。
- T36      そうやん！ほんまに重たい時ってどう？「おおきなかぶ」でやったやろ？「うんとこしょどっこいしょ」でやったやろ？
- C       (口々に)

T37 そんなに大きな声出ないよね。  
C (口々に) よいっしょ、よいっしょ。おもたいな。  
T38 ひゅうがさん、言うてみて。  
C13 よいっしょ、よいっしょ。おもたいな～。(ひゅうが)  
T39 すごいね。じょうず！すばらしい！  
C (拍手) じょうず！  
T40 「おもたいな。」をもっと重たそうに言うてほしいな。りくさん！  
C14 よいっしょ、よいっしょ。おもたいなっ！（りく）  
T41 りくさんは、「おもたいなっ」って切ったんやな。ひゅうがさんは、「おもたいなあ～。」って伸ばさはった。どっちがいいのかなあ。みいなさん、やってみて。  
C15 よいっしょ、よいっしょ。おもたいな。(みいな)  
T42 「よいしょ」と「よいしょ」の間をあげはったんわかる？「よいしょ」で、力をもう一回入れて「よいしょ」。ひいろさん。  
C16 よいしょ、よいしょ。おもたいな。(ひいろ)  
T43 「おもたいな」がちょっと、気持ちが……。なおきさん。  
C17 よいっしょ よいっしょ おもたいなあっ。(なおき)  
T44 最高違うか？あなた！すごいね。「よいしょ」の「よ」が出てこないところがいいね。さあ、読むよ。  
C (読む)  
T45 これ(小さな)やで。小さく言って。  
C (小さく読む。)  
T46 ここ行くよ。せ～の！  
C (読みを進める。)  
T47 「そとが見たいな。」(軽く明るく)なの？ひゅうがさん、どう？  
C18 そとが見たいなあ～。(ひゅうが)  
T48 みんなも言ってごらん。  
C そとが見たいなあ～。  
T49 次どうぞ。  
C (読む)  
T50 さあ、ここで、春やってわかる言葉があるんやけど。  
C (口々に言う)  
T51 みいなさん。みんな、みいなさんを見るんだよ。お友だちの意見を聴いて、考えて、「へえ」とか「ああ」とか言うんだよ。  
C19 「雪の下にあたまを出して」だと思う。(みいな)  
C20 あ！おれとよいっしょや。(むつき)  
T52 理由は？

- C20 理由は、「あたまを出して」のあたまを出すことで・・・
- T53 何が？
- C21 ふきのとうがあたまを出している・・・
- T54 ふきのとうがあたまを出しているということは
- C もう、春！
- T55 ふきのとうって知ってるの？
- C (口々に) 知ってる。絵本で見た！
- T56 ほんまもん見たことある人いる？(おもちゃのふきのとうを見せながら) 春になって、芽を出すものだね。チューリップといっしょ。
- T57 まだ、あるんやけどなあ。
- C22 雪をどけようとふんばっているところです。ふきのとうが出てきているから、春。
- T58 なるほど。まだ、ある！
- C ええ～？！
- T59 これに気づいたら、6年生以上やなあ。隣近所で相談！
- C (相談)
- T60 ヒントは、ふきのとうじゃない！
- C ええ？！(相談)
- T61 4か5か6か7で手を挙げてや。  
(4:0人 5:1人 6:5人 7:22人)  
7多いね。7のどの言葉？
- C 「ごめんね」？
- T61 なんか言わはった。ふきのとうじゃないとしたら、7しかないよな。7のどの言葉って訊いたら、これ(「ごめんね。’)かって、今、誰か言ったな。実は、「ごめんね。」なんだよ。
- C ええ～～？！
- T62 今の驚き方、素敵！！「ごめんね。」って誰が言ったの？
- C 雪
- T63 誰に？
- C ふきのとう
- T64 なんで？
- C (口々に) どけないから。ふきのとうがこまってるから。
- T65 「ごめんね。」って言うのは、相手に自分が悪いことをしているから、あやまるんやな。誰に対して、悪いことをしてるんや？
- C ふきのとう
- T66 でも、雪は、積もるものじゃない？悪いことしてるの？

C わざととかじゃないけど。

T67 ほらほらほらほら。これなんでしょ？春が始まったんでしょ？今は、冬じゃないんでしょ？

C22 冬じゃなくて、春が始まっているのに、雪があるのはおかしいから、「ごめんね。」って。(むつき)

C ああ！！

T68 むつきさんは、大発見なんや。それをよく聞いていた2人は、すばらしい！冬に雪がふるのは、あたり

C まえ。

T69 冬に雪が積もるのは、あたり

C まえ

T70 でも、春になったら、雪は

C とける

T71 でも、とけないから、誰が困ってるの？

C ふきのとう

T72 今は春だから、自分は、本当は

C 水になる。

T73なのに

C23 まだ、とけないで、ふきのとうのじゃまをしている。(むつき)

T74 そう！じゃまをしてるから、「ごめんね。」って言ったんだよ。ということは、冬に、雪は、あやまるか？

C あやまらへん。

T75 春だから

C あやまる

T76 ということは、この後、他にも、あるなあ。同じようなものが。

C あ！「すまない。」！

T77 誰があやまってるの？

C たけやぶ

T78 誰に？

C 雪に

T79 なんで？

C 雪に日が当たったら、水になれるのに、竹やぶが・・・

T80 どういうこと？(黒板に図示)地面があって、ここに誰の頭が出てるの？

C ふきのとう

T81 その上に何が乗ってるの？

C 雪

- T82 雪が乗ってて、「よいしょ、そいしょ。おもたいな。」「そとが見たいな。」で困ってんねな。雪が「ごめんね。」で言ってるんやな。でも、この雪にも、「ごめんね。」って言ってる人がいるんやな。誰？
- C たけやぶ
- T83 こんなふうに、竹が生えてて、「すまない。」で言った。なんで、すまないの？
- C (口々に) だって、日があたらなくて・・・
- T84 雪は、何を困っているの？ここ読もう。
- C (雪の「」を読む。)
- T85 春やったら、ほんまは、どうなん？竹やぶがどうなってくれたらいいの？
- C 揺れる。
- T86 (教師が竹になって動作化しながら) 揺れて、太陽の光が、こうなったときに、
- C ピカ〜ッ！
- T87 あたる？
- C うん。
- T88 こうなったときにも、あたる？
- C うん。
- T89 でも、今は、こう？(まっすぐ、立つ。)
- C あたらへん。
- T90 だから、ゆきがとけなくて、「すまない。」ってあやまったのは、だれ？
- C たけやぶ
- T91 そうやなあ。ほんで、たけやぶは、どうしたいの？
- C ゆれておどりたい。
- T92 ここ(たけやぶの「」)読んで。
- C (読む)
- T93 だいぶん、わかってきたねえ。春が始まってきているんだけど、冬が残っちゃってる。だれのせいかというと
- C はるかぜ
- T94 こんな形かな。図に書いてみるよ。(書きながら) まず、ふきのとうが困ってる。これは、雪のせい。雪も困ってる。これは、竹やぶのせい。竹やぶも困ってる。
- C はるかぜのせい！
- T95 揺れて踊りたいのに、風吹かへんかったら、揺れて踊れへんな。ということは、春風が吹いてくれたら、竹やぶは困らへん？
- C 困らへん。
- T96 それで踊れたら、雪は困らへん？
- C 困らへん。
- T97 とけたら、ふきのとうは困らへん・

C 困らへん。

T98 ということは、ぜんぶ、これが悪い。全部、これのせい？

C 春風のせい。

T99 ここからは、次の時間にやろうね。